

特定非営利活動法人 みんなのうちに

事業名

外国ルーツの人々の支援事業のための居場所提供事業

コミュニケーション支援事業

生活支援事業

取組内容

新宿区での外国ルーツの住民と地域住民との交流を促進するため、日本語理解力の向上、地域に関する情報収集に資する場として、外国にルーツのある人にとって立ち寄りやすい「居場所みんなのうちに」を提供した。

- ◆ 事業期間
令和5年4月1日～
令和6年3月31日
- ◆ 参加人数等
①延べ1,529名
②延べ432名
③延べ92件

◆「居場所みんなのうちに」での活動

- ①日本語と教科学習支援：日本語と教科学習を望む外国にルーツのある小学生から高校生対象
- ②大人向け日本語教室
- ③相談業務：外国にルーツのある青少年から大人及び他団体などが対象。相談内容は進路、就労、ビザ、家庭問題など様々。



居場所の様子①

効果

- ・ 教科学習支援：大学に2名、専門学校に4名、高校に6名合格
- ・ 大人向け日本語教室：N2に1名、N4に1名合格
- ・ パソコン指導も定期的に行い、高校生のキャリア形成につなげることができた

事業を振り返って 代表理事 小林 普子さん



居場所の様子②

「居場所みんなのうちに」の存在が定着した結果、外国ルーツの青少年だけではなく保護者も駆け込みで相談に来るようになりました。ボランティアの支援者からは、支援対象者にいつでも寄り沿うことができる「居場所みんなのうちに」があり良かったとの声が寄せられています。一方で利用者が増加すると場所が狭く一度に多くの人を利用できないことが課題です。